

日刊 磐城時報

編輯兼發行所 磐城郡平野町十四番地
印刷所 加納活版所
電話 二四
廣告料 一月五元 三月十元 半年二十元 一年四十元
零售 每份五分
印刷 每日(日曜、祭日)休刊

平庶民金庫の 惣代人選舉終る

最後に於て候補者退き 投票を用いた處三區

信用組合平庶民金庫の惣代人改選は十三日午後一時から平町内八ヶ所に區別して行はれた、既報の如く同組合として管て見なかつた猛烈な競争が演ぜられたが、愈々最後の日になると候補者中に引退するもの現はれた、投票により選舉した處は第一區紺屋町、長橋方面、第七區田町、搦小路方面、第八區城山方面のみで他は詮衡並に組合長の指名により惣代人が決定した。然し候補者が引退により無競争となつた處でも大部分は投票不足を見越しての引退が多いため決選して圓滿なる解決ではなく裏面に暗闘が演ぜられてゐる点は投票を用ひた方面より更に甚だしきものがある。當選者左の如し

(○印は新惣代人)

▲第一區
一六票 會川卯三郎
九五票 ○金成泉一郎
九一 〇植頭鶴松
次点二六 馬目雅治
一二 端山正男
五 大谷要次郎
一 永山富廣

▲第二區 (詮衡)
渡邊貫一、柏原真吾、
(比佐信太郎候補引退)

▲第三區 (同)

傾城トンネル入口 豪雨のため崩壊

警戒中の工手が發見 危うかつた第三三七號客車

湯本間の傾城トンネル北方十米の地点で幸うして停車し危うな入口附近側の断崖高さ二十四餘米の事が出た。急報に於て、中七米の箇所が十二日午後接し、湯本、綴の各駅から工員が四十五分折柄の豪雨のため夫百余名出動し復舊作業を行つた。崩壊した上下線路を埋没したの結果午前三時に至り土砂を取除き警戒中であつた平保線區綴除き辛うじて徐行運轉が出来る所工手黒田勇(三)江尾四郎(やう)になり前記列車は四時間二二(八)の兩名が發見したが、時十九分の遅引を見、その後列車を見るに既にその時十一時四車も一時内外の遅引を見た。十三分湯本發車第二三七號下り客車の報に接した水戸運輸事務客車が發車した後なので持合せ所から十三日午前田中保線事務でみた發雷信號を線路に仕掛け所長、福富運轉係長以下現場に進行中の列車に危険を知らせた來り危険を一掃すべく徹底的な之がため右列車は現場を距る入工事に取りがつた。

更に四万圓を投じて

徹底的の工事を

右の傾城隧道は一名魔の隧道と言はれるほど常に無数の龜裂が生じ之が改修だけでも既に鐵道省では百二十萬圓も支出してゐる。而して昨年の如きも隧道の中央を割つて二分したのであつたが、これでも危険が去らないので更に徹底的に改修を断行すべく工費四萬圓を計上し今月末から仕事に着手することになつてゐた。崩壊現場は上野驛を基點として二、三キロ七〇〇メートルの所にあり平常同地点は龜裂を生じ居るので當局でも絶えず警戒をなし殊に十二日の如きは降雨のため危険多かるべしとして同所に線路路夫を派遣して居た所から崩壊が直に發見されたもので、これが二分遅れれば如何なる惨事が生じたか知れないと言はれてゐる。

石城郡内 共済委員會

石城郡共済委員會は十三日午前十時から平町第三小學校に開き縣から松下社會課長臨席し諸般の指示をなした。

滿蒙地圖

四月に平町に開催する昭和産業博覽會の準備は着々と進み出品申込みも續々殺到してゐるが、農林省山林局並に平野署では卒業式は十七日舉行するが卒業生は二十三名である。

綴驛常置の自動車

内郷村綴驛の乗合用自家用三輪自動車第八一號を十三日午後六時五十分頃泉村字東谷渡邊喜久彌(一九)が運轉し内郷村内町番藤義政(二七)が同乗し小名濱平町職業紹介所では十三日午前十時から平町役場會議室で昭和産業博覽會の女監視人の採用試験を行つたが、集つたもの六十名で高等女學校卒業生は八名であつた。

磐炭の試掘権

磐城炭礦で願出した飯野村並に平町一部の地下試掘権は既報の如く仙臺鑛山監督局から許可されたが、平町に關する箇所は下河原町並に五色町の一部で總坪數百二十坪である。

長坂の火事

原因に不審の点

十三日午前二時頃平町長坂古物起つたので直ちに現場に急行し商賣井徳治方から發火し附近の元鐵道員奥澤鶴次郎方に延焼し、兩家を全焼し午前三時鎮火したが、平野署では過般の立町の火事の原因が來だに不明で取調べ中である折柄又々火事騒ぎが

郡南で 青年同志會

石城郡南青年同志會の發會式は十三日午前十時から菊田座で舉行、會長に金成通氏、副會長に赤津庄兵衛、山崎登兩氏を推した。

實踐商業卒業式

四倉實踐水産商業學校の第四回卒業式は十七日舉行するが卒業生は二十三名である。

小名濱で溝に轉落

女監視人の採用試験

平町職業紹介所では十三日午前十時から平町役場會議室で昭和産業博覽會の女監視人の採用試験を行つたが、集つたもの六十名で高等女學校卒業生は八名であつた。

危うく火事

十三日午後三時頃平町鍛冶町玉川方風呂場の煙突が燃えすぎたため屋根の一部が黒焦げになつたが附近の者發見消し止めた。

相馬支局通信

▲聯合發火演習 原町外四ヶ村石神、太田と大郷、高平村聯合發火演習は十三日夜まだき晩に宵から降り續く雨を犯

四倉町傳染病

四倉町に於ける傳染病發生數は昭和二年十名、三年二十七名、四年二十三名、五年四十八名、六年三十四名で逐年増加の傾向にある。傳染病費も昭和二年には二千八百五十圓、三、四、五年に同様に千五百九十五圓三十二錢で殆んど増額されてゐるので傳染病發生都度豫算關係で極み切つてゐる。

社内曹長の 村葬執行

既報の如く過般、ルビンの激戦で名譽の戦死を遂げた相馬郡高平村出身歩兵曹長社内徳吉の遺骨は去る八日多数の出迎を受け郷里に到着したが、高平村では十二日午前十時より同村小學校庭に於て神佛兩式により盛大な村葬を執行した。本縣知事第二師留守司令官、歩兵第二十九聯隊長、聯隊司令官、大日本赤十字社、帝國在郷軍人相馬郡聯合會長、愛國婦人會長、其他各種團體の弔詞ありて各方面よりの弔電を披露し遺族の玉串奉奠、一般有志自由燒香に式閉したが、地方代表者多數會葬し其數三千余名空前の盛儀であつた。

小學生用防水マント

入學進級のわ子様方へ

完全なツルヤの

防水マントを

耐久三年以上

二尺	一圓四十錢
二尺二寸	一圓六十錢
二尺四寸	一圓八十錢

中ゴム合セ別誂マント

進入生用

男	二圓
女	二圓三十錢

ツルヤ 電話二四〇

金輸出再禁と三井の大奉仕

金輸出再禁止に伴へ商品市價は大暴騰を來す事と存じます。弊店にては幸ひに安値品豊富に仕入置きましたから平素の御愛顧に報ゆる爲此際値上致さざるは勿論在庫品は一層を勉め致す覚悟で御座いますから年末年始の御用は何卒御用命の程偏に御願申上げます。

三井呉服店 平町三八・二八四

かまぼこ

折詰仕出し

御惣菜用さつま揚、吉原揚

平町二丁目 藤市蒲鉾店 電話三〇五番

和洋銅鐵金物問屋

釜屋商店

諸橋久太郎 電話九九番

革靴自製部新設

注文靴。修繕靴

親切。丁寧。請合

- ◎高級ゴム長靴
- ◎五圓均一靴
- ◎各種靴類

マルトモビル内

菊地靴店 電話(呼)四三六

外科 一般外科 内臓外科 性病科 X光線科

入院隨意(自炊の便あり)

元赤心堂病院跡

安齊外科醫院

電話四七五

急性慢性を問はず

淋疾は立派に全治す

(一)淋疾尿道炎、(二)消渴、(三)膀胱カタルには驚く可き効目がある

高級治淋新薬 トリプチン

特約店 大平屋薬店 電話六四二番

カクテール
17キタヒデク352
レストラン サロン

腸胃 専門 内科
十二指 腸胃病 胃腸科
村松 啓
平町南町六五改(電話一八一番)

蓄積安心 融通低利
三幸無盡
大蔵大臣免許
湯本信用無盡會社
電話四七番

外科 花柳病科 専門

平町六丁目橋際 木村外科醫院 電話三〇九番

専門内科一般

内科ハ何デモ診療致マス
呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五改(電話一八一番)

川井内科診療所 啓學士 川井重子 女醫 川井安子

アンカ「コタツ」に徳用な
木炭 たどん 代用

製造元 鈴木炭團製造所
平町古銀治町杉ノ澤
御小賣所 魚清氷卸部
平町二丁目(警察署通り) 電話四六七番
尙氷の御注文モ電話四六七番へ

吉田眼科病院

平町紺屋町 電話六八番